

【授業改善推進プラン 4年 国語】

<p>児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○授業に向かう姿勢については、個人差が大きい。 ○意見は言えるが、意見をつなげて言える子は少数である。 ○漢字については、正しく読む、正しく書くことが低く、課題である。 ○言葉のきまりや文章の読解については、様子を表す言葉や物語文の読み取りなどが低く、課題である。 ○話を聞くことはできるが、その内容について自分はどうかを習慣づける必要がある。
<p>指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○漢字については反復をして習熟を図るとともに、その意味や由来について調べる活動を取り入れる必要がある。 ○周りの意見を、自分の考えと比較しながら聞く習慣をつける必要がある。そのため、課題を正しく把握し、自分の考えをもてるようにする。 ○物語文や説明文の丁寧な読み取りが必要となる。
<p>授業改善にむけての具体的方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○漢字の小テストを定期的に行い、定着を図る。 ○話し合い、学び合いの場面の計画的な設定をする。 ○ICTを活用した文章の丁寧な読み取りを行う。 ○比較しながら話を聞く姿勢を習慣化させる。 ○自分の考えを書く時間の確保をする。 ○音読活動を通して、文章理解を深めさせる。
<p>読み解く力の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○文章の中から主語・述語を押さえる。 ○「その」「あの」「この」などの指示語は、何を示しているのか丁寧に押さえる。

【授業改善推進プラン 4年 社会】

<p>児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○社会的事象（社会に関わるできごと）に対する関心・意欲は高い。 ○地図から必要な情報を読み取る力が比較的弱い。 ○資料から事実を読み取ることはできるが、問題解決に必要な事実だけを選び出すことをやや苦手としている。 ○学習の振り返りにおいて、きちんと書き表すことができる子とできない子の差が比較的大きい。
<p>指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○単元の初めなどで、子どもの興味や関心を高める社会的事象に触れさせる指導が不足している。 ○基礎的・基本的な知識を確実に定着させる指導が徹底していない。 ○様々な考えを比較・関連付ける活動が十分には行われていない。
<p>授業改善にむけての具体的方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○前もって授業に活用可能な社会的事象を集めておくなど、事前の授業準備を丁寧に行う。 ○授業の初めに前の時間に学習した基本的な内容を振り返らせる。また、授業終了時に、基本事項の確認をする時間をとる。 ○友達との意見の交流をもたせる。 ○授業の中で地図帳を用いる機会を増やし、繰り返し、地図の読み方を指導する。 ○授業の終わりに振り返りをノートに書かせる際、文書の型を与えるなど、必要に応じて支援を行う。
<p>読み解く力の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○資料の読み取りに際して、読み取りの視点を与えるとともに、何が分かったのか発表させ、その根拠を問う。 ○多くの資料と触れる機会を授業の中に取り入れる。 ○資料読み取りに際して、グラフ、表、地図など文章以外の資料にも多く触れさせる。

【授業改善推進プラン 4年 算数】

児童の状況	<ul style="list-style-type: none">○各単元、基礎基本が十分に定着していない。○集中力が持続しない○学習しようとする意欲は感じられる
指導についての課題	<ul style="list-style-type: none">○作業的、動作的な体験的な活動を計画実施する。○授業に飽きさせない、魅力ある授業展開を考え、実施する○少人数指導において、個人差に応じた指導をしていく○図や数直線、絵などをもとに立式できるようになる○児童の言葉で説明できるようになる
授業改善にむけての具体的方策	<ul style="list-style-type: none">○まだ、Dコースで九九のできない児童がいる。毎時間100ます計算をする。○前時の振り返りをし、要点を押さえる。○それでも、厳しいと思われる。根気よく繰り返し指導していく。○重点化を図り、ねらいを絞った学習を実施する
読み解く力の育成	<ul style="list-style-type: none">○問題文を全員で声に出して読み、分かっていること(数量)聞かれていること(答え)を線を引いておさえる○何をどうすれば答えが出せるか、児童に寄り添いなるべく自力で立式できるよう支援する

【授業改善推進プラン 4年 理科】

<p>児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○学習に対する意欲が高く、実験や観察に積極的に取り組む。 ○観察や実験を行っても、なぜその実験を行っているのか、その実験で何が分かればいいのかをつかんでいない児童がいる。 ○予想を立てる場面で既習事項を根拠に予想を立てたり、実験方法を学習したことを基に考えるなど、学んだことを生かして問題解決を図ることがあまりできていない。 ○基礎的・基本的な知識が定着していない児童がいる。
<p>指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○実験方法や実験結果からわかることを考えたり、話し合う時間が不足している。 ○子どもの表現力を高めるための具体的手だてを更に増やす必要がある。 ○振り返りを通して、わかったことや考えたことを簡潔にまとめる指導を継続する必要がある。
<p>授業改善にむけての具体的方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○予想の根拠や、実験方法とその理由などについて適宜問い返しなどを用いて子どもたちに考えさせる。 ○実験・観察の結果から分かることをまとめるときに、必要に応じて使えるまとめ方の例を示す。 ○空いた時間にプリントの学習などを取り入れ、知識の定着をより確実にする。
<p>読み解く力の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○考えたことを表現する時間をとる。 ○観察、実験の結果を表やグラフに整理したり、予想や仮説と関係付けながら考察し文章でまとめてノートに記述したりする。

【授業改善推進プラン 4年 音楽】

児童の状況	<ul style="list-style-type: none">○学習規律が定着しつつある。○お互いを認め合う雰囲気があり、安心して表現活動ができている。○友だちと考えを伝え合ったり、教えあったりしながら学ぶ姿がみられる。
指導についての課題	<ul style="list-style-type: none">○学習の技能の定着に遅れがある児童に対しての補習にかかる時間が十分ではない。○表現活動に一部制約があるため、自分の出している音に集中したり、友達と音を合わせたりする場面が少ない。
授業改善にむけての具体的方策	<ul style="list-style-type: none">○学習のルールを再度確認する。○児童の実態に応じた教材解釈を行うと共に、授業内で習得できない技能は、補助プリントや休み時間を利用して補習を行う。○屋上などの野外を利用したり、フェイスシールドを使用したりして、飛沫防止対策を工夫し、歌唱やリコーダーなどを使用した表現活動を実施する。
読み解く力の育成	<ul style="list-style-type: none">○音楽を聴いて聴き取ったことや感じ取ったこととの関りについて考え、よさや面白さ、美しさなどの感じ取ったことを言語化することができるように指導する。○児童が感じ取ったことを生み出している音楽の特徴に目を向けることができるように、児童の発言を聴き取ったことと感じ取ったことに整理して板書したり、特徴的な部分を聴いて確かめたり、イメージを表す言葉を掲示したりする。

【授業改善推進プラン 4年 図工】

<p>児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○平面、立体に限らず、図工に対する意欲は高く、主体的に活動に取り組む児童が多い。反面、「よりよいものにしよう」等、完成度を高める意識が低い児童も多い。 ○お互いを認め合う雰囲気があり、互いの作品や活動を肯定的に鑑賞したり、工具なども安心して使ったりすることができている。しかし、それが特定の児童間だけになってしまう児童もいる。 ○既習の知識や技能の定着に児童間で差があるので、思いついたことを表すことに苦戦する児童もいる。
<p>指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○「よりよいものにしよう」など、完成度を高める意識が低い児童や、技能の定着が十分ではない児童に向けた、より効果的な個別の指導の技術や言葉かけ。 ○表現活動に一部制約があるため、造形遊び等の共同的な学習の体験が十分ではない。
<p>授業改善にむけての具体的方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○児童が自分から考えたいくなるようなモチーフを設定できるように、机間指導をより充実させ、児童理解を図る。 ○活動をスモールステップにするなど、「これができたら次はこの工程を行う」等、活動を重ねることで作品がより良くなることを実感しやすいような流れを設定する。 ○新型コロナウイルス感染症対策や感染数などの状況を見極めながら、予定している単元を組み替えながら、造形遊び等の学習活動を行っていく。
<p>読み解く力の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ワークシートの文章を読んで、どんな活動をするのか理解したり、そこから想像を膨らませて発想に繋げたりする活動を行った。 ○毎回の授業の中で、本時のめあて、本時にがんばったこと・わかったこと、次回の授業に向けての3点を書いたり、定期的に振り返って読む活動を行っている。

【授業改善推進プラン 4年 体育】

<p>児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○体を動かすことは好む児童が多い。 ○協力して運動する態度がよく育っている。 ○学習のめあてを意識して練習に取り組む姿があまり見られない。 ○友達の技などを観察し、それを自分のものとして取り入れる力がやや弱い。
<p>指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○一人一人に合った技能の積み重ねができる学習活動や場の工夫をさらに行う必要がある。 ○縄跳び運動など、日常的に運動できる活動や場をもっと増やす必要がある。 ○学習のめあてをもたせることや、めあてに即して練習したり振り返りをしたりすることが指導として不十分である。
<p>授業改善にむけての具体的方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○技能ポイントを示した鉄棒カードや縄跳びカードを利用してにすることで、目標をもってすすんで取り組めるように指導する。 ○十分に取得できていない技能は、学年をさかのぼって練習できるような学習の場を構成する。 ○技能の高い子どもの演技を全体の前で紹介するなど、モデルとなるものを示し、参考にさせる。
<p>読み解く力の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○技能ポイントなどを記した資料を配布し、イメージをもって運動に取り組むことができるよう図や動きなどを取り入れた資料を作成する。

【授業改善推進プラン 4年 総合的な学習の時間】

児童の状況	<ul style="list-style-type: none">○学習に対する関心は高く、意欲的に取り組む。○学習のめあてを意識して取り組むことのできる児童が多くなってきた。
指導についての課題	<ul style="list-style-type: none">○活動の工夫や見通しをもった取り組みができるようにしていく。○児童一人一人に明確な課題をもたせるようにしていく。○学んだことや次の学習でやってみたいことなどを振り返ることを丁寧に行う。
授業改善にむけての具体的方策	<ul style="list-style-type: none">○児童が主体的に学ぶことができるような魅力ある単元計画を考え、工夫していく。○活動の見通しを持たせ、ゴールを意識させ、共有していく。○資料の選び方やその活用の仕方及び多様な表現方法を、段階に応じて細かく指導する。○思考ツールやホワイトボードの活用など、主体的に活動できるような工夫をする。
読み解く力の育成	<ul style="list-style-type: none">○ワークシートへ記述する際、主語、述語、修飾語、目的語に気を付けて文章化させる。

【授業改善推進プラン、4年 外国語活動】

児童の状況	<ul style="list-style-type: none">○意欲的に取り組んでいる。○基本的な英単語、英会話ができる児童とできない児童に分かれている。○ALTの話が分からない児童は、周囲の友達やT1に聞きながら学習を進めている。
指導についての課題	<ul style="list-style-type: none">○授業中の担任とALTの役割○担任のみで授業を行う際の授業の展開
授業改善にむけての具体的方策	<ul style="list-style-type: none">○担任が、T1としての指導力を身に付けられるようにするとともに、楽しく会話したり、ゲームをしたりすることを実践していく。
読み解く力の育成	<ul style="list-style-type: none">○英語表現と日本語の説明を結びつけられるようにする。○新しい語彙を確実に定着できるよう、繰り返し練習させる。

【授業改善推進プラン、4年 特別の教科 道徳】

児童の状況	<ul style="list-style-type: none">○資料を読み、葛藤場面で自分の立場を明確にし、意見を言うことができる。○資料のテーマから、今後はどのようにしていくか具体的なイメージを持つことができる。
指導についての課題	<ul style="list-style-type: none">○小グループでの話し合いを通して自分の考えをふかめていくことができにくい。
授業改善にむけての具体的方策	<ul style="list-style-type: none">○葛藤場面があり、議論がわきおこるような教材を吟味する。○相手の考えを受け止め、改めて自分の意見を考えることができるようにするために時間を設定したり、書く活動を取り入れたりする。○発問を吟味する。
読み解く力の育成	<ul style="list-style-type: none">○登場人物の行動や前後の場面の展開から、登場人物の心情を読み取らせる。○道徳的価値を見いだした理由を含めて記述させる。